

1 瀬戸内海の概況

環境省は、平成 10 年、水質が良好で快適な水浴場を顕彰することにより、①国民の水とのふれあいを通じた水環境の保全に対する理解と協力の促進に資するとともに、②関係自治体等におけるよりよい水浴場の実現への取組を支援することを目的として、「日本の水浴場 55 選」の選定を行ったが、平成 13 年 3 月に、選定基準を見直した上で新たに全国 88 ヶ所の水浴場を、平成 13 年選定「日本の水浴場 88 選」として選定した。さらに、平成 18 年には、人々が水に直接触れることができる個性ある水辺を積極的に評価し、これらの快適な水浴場を広く普及することを目的として全国 100 ヶ所の水浴場を「快水浴場（かすいよくじょう）百選」として選定した。このうち総合的な評価の高い 12 ヶ所の水浴場を特選として選定した。「快水浴場百選」は都道府県から推薦のあった 191 水浴場について、「快適水浴場検討会」（座長：松尾友矩 東洋大学教授）において、「美しい」、「清らか」、「安らげる」、「優しい」、「豊か」という水辺に係る新たな評価軸に基づき選定したものである。

瀬戸内海沿岸で選定された「快水浴場百選」は表 1-17 に示す 17 ヶ所である。

表 1-16 水浴場水質判定基準

区分	ふん便性大腸菌群数	油膜の有無	COD	透明度	
適	水質 A A	不検出 (検出限界2個/100m L)	油膜が認められない	2mg/L 以下 (湖沼は3mg/L 以下)	全透 (水深1m 以上)
	水質 A	100個/100m L 以下	油膜が認められない	2mg/L 以下 (湖沼は3mg/L 以下)	全透 (水深1m 以上)
可	水質 B	400個/100m L 以下	常時は油膜が認められない	5mg/L 以下	水深1m 未満～50cm 以上
	水質 C	1,000個/100m L 以下	常時は油膜が認められない	8mg/L 以下	水深1m 未満～50cm 以上
不適	1,000個/100m L を超えるもの	常時油膜が認められる	8mg/L 超	50cm 未満*	

- 注) 1. 判定は、同一水浴場に関して得た測定値の平均による。
「不検出」とは、平均値が検出限界未満のことをいう。
透明度（※の部分）に関しては、砂の巻き上げによる原因は評価の対象外とすることができる。
2. 判定基準については、以下のとおりである。
- (1) ふん便性大腸菌群数、油膜の有無、COD 又は透明度のいずれかの項目が「不適」であるものを、「不適」な水浴場とする。
 - (2) 「不適」でない水浴場について、ふん便性大腸菌群数、油膜の有無、COD 及び透明度によって、「水質 AA」、「水質 A」、「水質 B」あるいは「水質 C」を判定し、「水質 AA」及び「水質 A」であるものを「適」、「水質 B」及び「水質 C」であるものを「可」とする。
 - ・各項目の全てが「水質 AA」である水浴場を「水質 AA」とする。
 - ・各項目の全てが「水質 A」以上である水浴場を「水質 A」とする。
 - ・各項目の全てが「水質 B」以上である水浴場を「水質 B」とする。
 - ・これら以外のものを「水質 C」とする。